地元が笑顔になるよう盛り上げたい！

特集1

伊方町

亀ヶ池
もりあげん会
西村　佳野

私の街～伊方町～

瀬戸内海と宇和海に挟まれた佐田岬半島に位置する伊方町。山にはミカン畑。海には漁船。山頂をメロディーラインが佐田岬灯台へとつながる、のどかな、のどかな田舎町です。

私の故郷には大きな池《亀ヶ池》があります。昔は広くて綺麗な池でした。池の周りでは、たくさんの人々で賑わう盆踊りや、お父さん達の熱気溢れる秋祭りなど、ワクワクする行事がたくさんありました。

しかし時代とともに、少子高齢化で人も少なくなり、小さく静かになってゆく行事ごと。地元を離れ、数年ぶりに戻ってきた私には更に寂しく感じたのです。地元の友人たちと話をするうちに、何か地元が笑顔になれる事は出来ないか？じーちゃん、ばーちゃん、お父さん、お母さん、少なくなった子供たちもみんなが楽しめる事はないか？と考え始めました。そんな折、人生の先輩である知人の方に、みんなでグループを作ってみてはどうかとのアドバイスをいただき、《亀ヶ池もりあげん会》をはじめる事になりました。

亀ヶ池もりあげん会の活動

《清掃活動》

地元を思うが故に、メンバーの意見は様々でした。すぐに出来る事、夢見たいな理想など、まずは出来る事！と、亀ヶ池周辺のごみ拾いから始めてみようという事になりました。普段近くに住んでいますが、あまり歩いて見ることのない池周りでしたので、気づかなかった場所に意外な物があったり、昔と違う家がある事に驚いたり。地元を再発見しながら、さらにどんな事が出来るのかを考える良い機会になりました。

清掃活動

《桜の植樹》

次なるチャレンジは、桜の植樹でした。春には山桜が美しいこの地域。もっともっと増やして、亀ヶ池の周りを桜の木でいっぱいにしようという願いを叶えるべく、地元農家さんの協力の下、空いている土地に桜の植樹を行いました。素人なりにみんなで一致団結し、植樹した五本の桜は、今年見事に花を咲かせました。いつか大きく育った桜の木の下でお花見をしたいねと、さらなる植樹場所を見つけて植樹を続けていきたいと思っています。

桜の植樹

特集

温泉から広がる地域の活性化

亀ヶ池もりあげん会の活動《湯あがりマルシェ》

亀ヶ池には11年前に《伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉》が開館しました。地元住民だけでなく、遠方からもたくさんのお客様が身体を癒しにご来館されています。内風呂、露天風呂をはじめ、サウナや岩盤浴、足湯、家族風呂、福祉風呂などなど、柑橘やよもぎを浮かべたイベント湯もあり、いろいろな方々が楽しめる温泉です。三年前に簡易宿泊所もオープンし、宿泊されるお客様も多く、大変賑わっています。そこで春夏秋冬、年に4回開催しているのが《湯あがりマルシェ》です。はじめは、交流物産館に商品を置いている地元のハンドメイド作家さんからのお声掛けで始まったマルシェでした。温泉のロビーや、外の回路にハンドメイド作家さんや、美味しいフード店さんなど、たくさんのご出店者様にきていただき、一日限りの楽しいマルシェとして開催しておりました。ある時、事情によりその作家さんからマルシェ運営を引き継ぎ、主催者として活動をはじめる事になりました。いざ主催者側になってみると大変な事も多く、考える事もたくさんあり、迷ったり悩んだりの日々でした。でも、いざ当日になると多くの方々が来てくださり、地元のお母さん達が笑顔で会話したり、ご家族で毎回来ては温泉あがりに楽しんでくれたり、子供達がゲームに夢中になったり、そこかしこに溢れる笑顔を見ていると、「あ～やって良かったなぁ～。もっともっと楽しんでほしいなぁ」としみじみ思います。

湯上りマルシェの様子

伊方町二見地域

湯上りマルシェの様子

昨年の夏には、閉校した旧二見小学校の校舎跡を利用した伊方町短期宿泊施設《亀ヶ池物語》がオープンしたので、そちらと温泉とを利用し、2日間にわたりマルシェを開催しました。

より集落に近い場所なので、ご近所の方々に好評で「また、やってやぁ～。楽しかったわい」とありがたいお言葉をいただいた事もありました。温泉の方のご協力と仲間の協力、ご出店者様のご理解などにより、過去11回無事に開催し続けられています。

今後の展開

私たち亀ヶ池もりあげん会のメンバーは、地元を中心に「何か地元をもりあげていける活動をしたい」と集まっているボランティアグループです。それぞれ皆仕事をしながらなので、話し合いや準備などなかなかスムーズに進められない事も多々あります。毎回、学ぶことも多いのですが、意見がぶつかる事もたくさんありました。今まで活動してきて、各々の考えや思いは様々で、一つにまとまるのは難しいと痛感しています。しかし、お互いに目的は同じ、《地元の為に！》。

今後は原点に戻り、自分たちも含めて、みんなが楽しんで笑顔になるよう、次回8月19日（日）のマルシェに向けてチャレンジしていきたいと思います。